

司法支援建築会議運営委員会議事録

(2012 年度第 2 回)

(記録：事務局)

A. 日 時：2012 年 9 月 28 日（金）15 時～17 時

B. 場 所：日本建築学会会議室

C. 出席者：委員長 上谷宏二

委 員 有馬 賢 池永博威 宇於崎勝也 小野徹郎 大森文彦 柿崎正義
荻谷邦彦 北澤 進 杉山義孝 鈴木秀三 田中淳夫 左 知子
松本光平 山口昭一 山本康弘（敬称略）

D. 提出資料

- 資料 No.2-1 運営委員会議事録（案）（5 月 24 日）
- 資料 No.2-2 名誉司法会員のイメージ
- 資料 No.2-3 司法支援建築会議功労者表彰にあたっての申し合わせ（案）
- 資料 No.2-4 名誉司法会員推挙・功労者表彰スケジュール（案）
- 資料 No.2-5 司法支援建築会議全体会議次第（案）
- 資料 No.2-6 第 4 回建築紛争フォーラム配布資料
- 資料 No.2-7 宮澤健二氏の書簡に対する回答（案）
- 資料 No.2-8 第 13 回司法支援建築会議講演会プログラム
- 資料 No.2-9 「催し物の動画配信」実施要領
- 資料 No.2-10 地方裁判所への講師推薦

E. 前回議事録(案)(5 月 24 日)の確認

事務局から前回議事録案の確認がなされ承認した。

G. 審議事項

1. 「名誉司法会員」称号の授与、「功労者」表彰

事務局より、前回運営委員会で新たな表彰制度として「社会貢献賞」の報告をしたが、その後企画運営委員会で具体化の検討を行った結果、学会全体で実施するのは難しいとの判断から当支援建築会議に「名誉司法会員」称号授与、「功労者」表彰の実施の検討を依頼することになったとの報告がなされた。この依頼を受けて名誉司法会員称号を授与する場合の方針、基準業績等の考え方、ならびに功労者表彰の目的、対象業績、選考方法等の説明がなされた。さらに 2013 年 5 月の全体会議での名誉司法会員称号授与、ならびに功労者表彰をする場合のスケジュールの説明がなされた。

（意見）

①司法支援建築会議は設立 12 周年になる。登録会員の方々は司法支援建築会議設立時から一生懸命活動されておられる。このような表彰制度があると活動の励みになる。人数を限

定しないで差し上げてはどうか。

(結論)

- ①「名誉司法会員」称号の授与、「功労者」表彰を実施することとし、11月理事会にその報告をすることにした。
- ②名誉司法会員ならびに功労者の選考委員会構成、選考にあたっての申し合わせ等は上谷委員長が中心になり案を作成し次回の運営委員会で検討することにした。

H. 報告事項

1. 司法支援建築会議支部の発足(近畿・北海道)

事務局より、6月の司法支援建築会議東海支部の設立に引き続き、近畿支部、北海道支部の設立準備が進められているとの報告がなされた。

2. 司法支援建築会議東海支部発足記念建築紛争フォーラム(東海)「建築紛争の争点と設計基・規準類について」

小野委員(東海支部運営委員長)より、参加者が百数十名でありたいへん盛況であり用意していた資料が不足したことが報告された。

3. 部会等報告

(1) 支援部会

事務局より、宮澤健二氏の東京地裁調停委員候補者の推薦に関する書簡に関して、東京地裁から伺った内容(本会推薦調停委員の担当調停事件数、本庁・簡易裁判所等への配置方針等)について報告がなされた。引き続き宮澤健二氏の書簡に対する回答案の審議を行い検討の結果、文案中に第三者性を確保するために「私的鑑定避けていただきたい」との一文を挿入することにした。

なお、今回本会推薦の調停委員の担当事件数にかなりの偏りがあることはわかったため、折をみて東京地裁に改善を要望することにした。

(2) 調査研究部会

松本部長より、部会で検討している「建築設計契約の紛争処理に関する研究」の概要紹介がなされた。

(3) 普及・交流部会

柿崎部長から以下の説明あり。

- ①第13回講演会企画の準備状況とさいたま地裁の講演会「建築訴訟ガイダンス」に講師1名(12月6日:建物の耐震強度の基礎知識、平石久廣氏)を推薦した。
- ②能力開発支援事業委員会から依頼のあった第13回講演会のUストーリー動画配信(有料)については、裁判官が講演者になった場合には講演内容に影響がでる可能性があるため慎重にとの意見があったが、今回は裁判官に講演を依頼していないこと、講演者全

員の了解を得ているため、地方会員の利便性を優先して動画配信を実施することにした。

③第14回講演会に裁判官に基調講演をしていただくための講演会テーマリストを作成中である。このリストをさらにブラッシュアップするために運営委員会委員に案を回覧してご意見を伺う。

④第5回建築紛争フォーラムは、2013年度の学会大会が北海道大学で開催されるので、その企画・実施を司法支援会議北海道の運営委員長に依頼することにした。

(4)修補工事費見積り検討小委員会

池永主査より、修補工事費の見積り検討報告書の原案を検討中でありほぼ原案はできあがっているため、なるべく早めに運営委員会に提出したいとの報告がなされた。

(5)建築紛争と学会規準類に関する研究会

小野委員より、司法支援の観点から見た今後の学会基・規準、仕様書等のあり方について準備会を5回ほど開催して、研究の方法、データの収集方法、成果のまとめ方等について検討したが、現状では研究データの蓄積が十分でないため当面研究会の設置を見送ることにしたとの報告があり、了承された。

I. 次回

- ・日時：2012年12月21日（金）15時～17時
- ・場所：建築学会会議室
- ・議題：司法名誉会員推挙・功労者表彰の検討、部会報告等

以上